

**婦人会交流研修会
に参加して**
会長 長谷川広子

一年前より計画、婦人会員91名参加のもとに7月12日実現致しました。北海道の月形ノ新潟の月潟ノそれを結ぶ一線のつながりは遠いものに考えておりましたが、当地を朝7時に出発、午後3時には月形町の人となり、時代の流れの速さを身に感じとりました。鈴木町長さん始め月形町挙げての大歓迎を受け、会員一同感激ひとしおに笑顔の第一歩でした。梅雨の無い北海道は天気晴朗、見果てぬ地平線、広大なる地に育まれる月形町民は花木栽培、メロン栽培と男女共々活性化に努める姿をハウス／＼と現地を回り見せて頂きました。4時より多目的センターで、まず小学生の分家角兵衛獅子の披露があり、我が月潟に在るような想いで一杯でした。次に交流会に入り、婦人会の現況説明、活動報告のあとお互いに和気あいあいのうちに意



見交換がありました。6時よりはな工場の夕食会に移り、各丸テーブルに月形、月潟のメンバーが半々に相対し、個々の親近感がいにしえの友の如く深められたようでした。ステージでは月形、月潟の各音頭、小唄の披露があり、2時間余の楽しい夕べの集いでした。佐渡おけさの指導をとる要望に体育館、アリーナにて教えるもの、教わるものが大きな輪になって夜の更けるのも知らず10時各部屋に戻っての大地震でした。

翌日、早朝にもかかわらず町長さん始め皆さんのお見送りを受け、深く感謝の意をのべると共に今度は新潟月潟の再会の日を約束して帰途につきました。

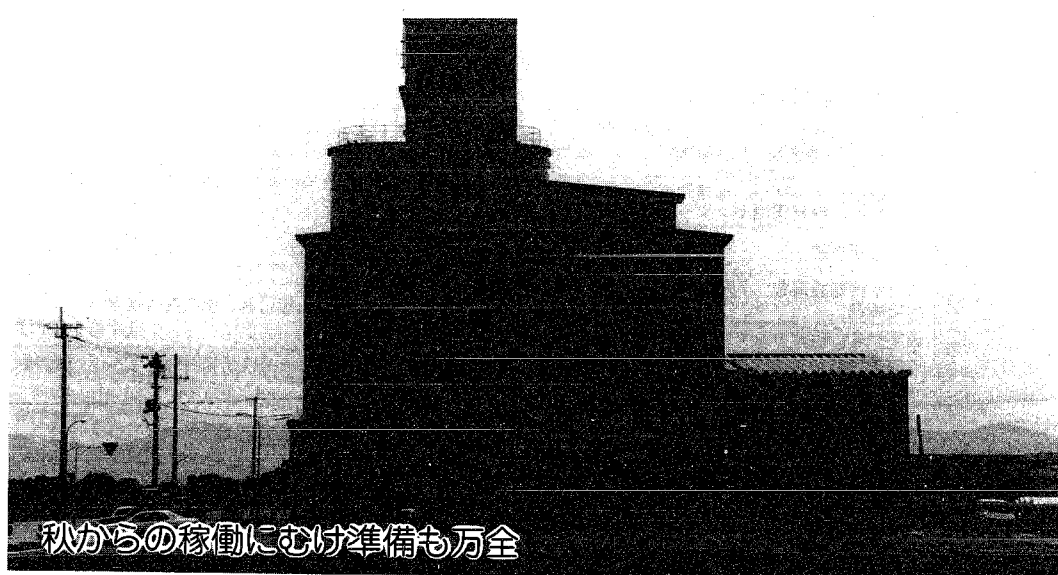
月形町との交流研修会が計画されてから一年余、待ちに待っていた出発の朝、ふと不安になり、うしろ髪をひかれるような思いで家を出ました。北海道に着陸すると、あたかも私たち91名の来道待ちかまえていたかのようなすばらしい晴天、広大な山野。広い道路を走り、月形町に着くと、町長さんをはじめ多数の婦人会員の皆様方のごいねいな出迎えを頂き、ただ身のひきしまる思いでいっぱいでした。多目的研修センターでの交流会は皆さんがわりあい肩ひじ張らず、リラックスした気分が話し合いが進められました。その主な内容は、

**北海道
月形町を訪問**

●月形町の交流研修会が計画されてから一年余、待ちに待っていた出発の朝、ふと不安になり、うしろ髪をひかれるような思いで家を出ました。

●月形町の主な施設等の車窓見学と栽培の施設見学

●月形町の角兵衛獅子の披露



平成2年度に認定を受けた農業農村活性化農業構造改善計画。その一環として、月潟村農業協同組合が事業主体となり建設に取り組んだ「カントリーエレベーター」が完成し、去る七月三十日竣工式が挙行されました。

この施設は、大規模な糶乾燥調製貯蔵施設として郡内で初めて建設されたものです。乾燥糶で2,400トンの貯蔵能力を持ち今年の秋から稼働することになっています。利用農家は、刈り取った糶

をカントリーエレベーターへ運搬するだけで収穫作業が終了し、農作業所、乾燥機、糶摺機等への投資がおさえられること、又、動力線も不要になること等が主なメリットとなっています。

式典は、カントリーエレベーター荷受室で「修祓式」と「テープカット・入電式」、会場を農村環境改善センターに移し、「竣工式」と「祝賀会」で完成を祝いました。

(単位:千円)	
総事業費	900,846
●補助事業費	852,703
建設工事費	410,134
製造請負工事費	404,038
系統施行監理料	10,865
建設用地造成費	27,666
●補助対象外事業費	48,143
(外構工事、フォークリフト、穀物コンテナ外含む)	
◆うち国・県補助金	468,984



▲関係者を招き盛大に行われた祝賀会

小林綾子

つた村長さんをはじめ、多数の方々大変有難うございました。